

大豆管理情報 第3号

1. 適期の2回培土と排水で生育促進！！

6月下旬～7月上旬の降雨により培土作業が遅れ気味となっています。
 晴れ間を利用して速やかに培土作業を行いましょう。

①培土

1回目の培土時期

→ 2～3葉期（播種後 20～25 日頃）に子葉が埋まる程度に行いましょう。

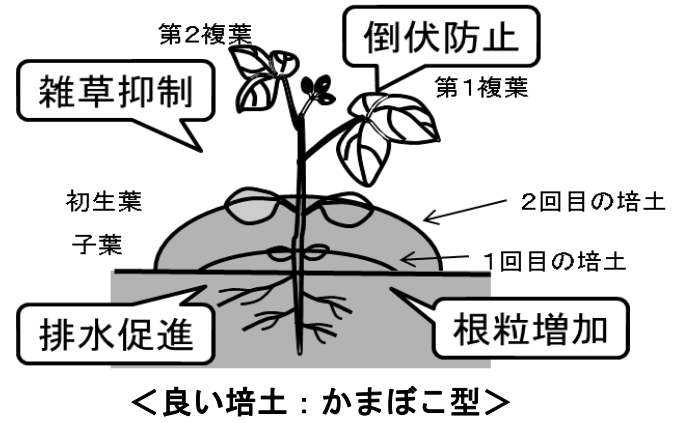
2回目の培土時期

→ 4～5葉期（播種後 30～35 日頃）に初生葉が埋まる程度に行いましょう。

※必ず適期の2回培土を実施しましょう！！

②排水溝の再点検

培土によってできた溝は、額縁排水溝にしっかり連結し、速やかな排水ができるようにしましょう。



枕地は、水が停滞しないように畦を切って排水溝に連結する

2. 雑草防除

○しっかり培土することで雑草の防除を行いましょう。

○除草剤を使用する場合は、以下の表を参考に使用上の注意をよく確認し正しく使用しまししょう。

| 散布時期 | 対象雑草・総使用回数 | 薬剤名 | 10a 当たりの散布量 | 注意事項 |
|-------------------------------------|-------------------------|---------------------|---------------------------|--|
| 大豆生育期 (雑草生育初期～6葉期) (収穫45日前まで) | 1年生雑草 (イネ科を除く) 1回 | 大豆バサグラン液剤 (茎葉処理) | 300～500ml (水 100L) | ※アカザ科、ヒユ科、トウダイグサ科、ツユクサ科には効果が劣る。 |
| イネ科雑草3～10葉期 (収穫30日前まで) | 1年生イネ科雑草 1回 | ポルトフロアブル (茎葉処理) | 200～300ml (水 100L) | ・枯殺するまでに7～10日かかる。 ・適用雑草としてスズメノカタビラを除く。 ※広葉雑草、カヤツリグサ科には効果が期待できない。 |
| 大豆本葉5葉期以降 雑草生育期 (収穫28日前まで) | 1年生雑草 3回以内 | パスタ液剤 (畦間・株間処理) | 300～500ml (水 100～150L) | ・非選択的に効くので、大豆の本葉にかからないよう十分注意する。 |

3. 病害虫防除

ほ場を巡回し、病害虫の発生状況に応じて速やかに防除しまししょう。

| 病害虫 | 薬剤名 | | 防除の目安 |
|---------|------------------------|---|--|
| | 粉剤 | 液剤 | |
| 葉焼病 | 撒粉ボルドー粉剤 DL 4kg/10a | Zボルドー 500倍 (10aあたり300mlを水150ℓで希釈) | ・発生が見られたら速やかに散布 ・シュウレイは7月下旬頃に予防撒布を行いまししょう |
| ウコンノメイガ | サイアノックス粉剤 4kg/10a | プレバソフロアブル5 4000倍 (10aあたり37.5mlを水150ℓで希釈) | ・7月末頃に1株あたりの葉巻数が6個以上 |
| ハダニ類 | — | マラソン乳剤 3000倍 (10aあたり50mlを水150ℓで希釈) | ・発生が見られたら散布 |

※農薬散布の際は、農薬使用基準を厳守し、周辺作物に飛散しないよう注意しまししょう。